

経路不明者 都市部と接点

尼崎市、感染29人分析

新型コロナ

尼崎市は16日、市内で15日までに新型コロナウイルスの感染が確認された患者29人について、感染経路などを分析した結果を公表した。クラスター(感染集団)が発生した伊丹市の介護老人保健施設と接点があるなどした人もいたが、13人は感染ルートが不明。ただ、その多くは大阪市や神戸市などの都市部に通勤したり出かけたりしていたといい、尼崎市は「多くの感染者が出ている都市部は感染リスクが高い。引き続き、外出の自粛を心がけ、慎重に行動して」と注意を呼びかけ

(上野将平)

◆尼崎市在住者の感染経路 (15日現在)

クラスター(感染集団)関連	6人
海外渡航	3人
感染者と接触	7人
不明(調査中)	13人

市によると、市内在住者の感染は3月10日に初めて確認された。4月15日まで、感染が判明したのは、ウイルス検査を実施した279人のうち29人(10・39%)で、10歳代1人、20、50歳代が各5人、30、40歳代が各6人、60、80歳代がそれぞれ2人だった。うち70歳代の1人は肺炎以外の病気が原因で死亡。5人が同日までに退院している。

感染経路を調べたところ、複数の感染者が出た伊丹市の介護老人保健施設「グリーンアルス伊丹」と接点があった「クラスター」関連が6人、海外渡航歴があったのが3人、他の感染者と接触があったのは7人で、感染ルートがある程度、特定できているのは計16人だった。残りの13人は感染経路を特定でき

者の中には、無症状の人もあるといい、稲村和美市長は「自分も感染して

尼崎市に一括相談窓口

件数増に対応 24日センター開設

尼崎市は、市民や事業所から新型コロナウイルス関連の相談や問い合わせが増えているため、一括して受け付ける総合窓口「市コロナ関連総合サポートセンター」を24日にも開設すると発表した。

市によると、新型コロナウイルス関連の問い合わせは、市のコールセンターだけで1、13日に計1179件。国から各世帯への給付金があるのかどうかや、事業所への融資や補助金に関するものなどが多く、内容を聞いて担当部署に回しているが、今後も相談は増える

と想定されるため、専門

いるかもしれないという考えを持ってほしい。感染しないため、感染させないために、できるだけ外出を控え、家庭内でも大きな声で会話せず、距離を空けて予防に努めてもらいたい」と話している。

市は、分析結果をホームページにも掲載し、情報は今後も随時、更新するとしている。

窓口を設けることに決めた。サポートセンターには各

部署から職員を集め、新型コロナウイルス関連の相談に「ワンストップ」で対応できるようにするとう。